

平成27年

建設消防委員会

5月15日

豊明市議会

建設消防委員会会議録

平成27年5月15日

午後2時19分 開会

午後2時43分 閉会

1. 出席委員

委員長	近藤千鶴	副委員長	毛受明宏
委員	富永秀一	委員	早川直彦
委員	杉浦光男	委員	村山金敏
議長	月岡修一		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	石川晃二	議事課長	馬場秀樹
議事担当係長	前田泰之	議事課主事	川口真也

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮正典	消防長	土屋正典
消防総務課長	稲垣聡	消防署署長	古橋三佐男
消防署副署長	濱島信夫	消防総務課長補佐	相木義博

5. 傍聴議員

郷右近修	清水義昭	鵜飼貞雄	近藤裕英
蟹井智行	後藤学	宮本英彦	藤江真理子
近藤郁子	山盛左千江	近藤善人	一色美智子

6. 傍聴者

なし

午後2時19分開会

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ただいまより建設消防委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いいたします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 皆様、非常に暑い中ですが、よろしくをお願いいたします。

建設消防委員会に付託されます案件は、財産の買入れの案件が1件でございます。慎重審査の上、お認めいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ありがとうございます。

議長より御挨拶をお願いいたします。

○議長（月岡修一議員） 大事な委員会であります。そして、本当にこの高価な買い物を市が買入れについて、必要と思われる質疑をぜひともしていただければと思います。要望という場所ではないので、どうぞ委員会としての質疑に終始していただければと思います。よろしくをお願いいたします。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ここでお諮りいたします。市長におかれましては自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、市長におかれましては退席をお願いいたします。なお、答弁を求める機会がある場合には直ちに出席をいただきますようお願いいたします。

（市長退席をなす）

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 本日の傍聴の取り扱いについてお諮りいたします。申し合わせに従い、一般傍聴の許可は6名以内といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、本日の一般傍聴は6名以内といたします。

傍聴の申し入れがありませんので、このまま会議を進めます。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

議案第39号 財産の買入れ（小型はしご車）についてを議題といたします。

本案につきまして理事者の説明を求めます。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 議案第39号 財産の買入れについて御説明させていた

だきます。

記のとおり財産の買い入れをするものでございます。

1、物品名、小型はしご車。2、納入場所、豊明市消防本部。3、数量、1台。4、買い入れ金額、3,585万6,000円。5、買い入れ先、名古屋市中区金山2丁目1番5号、平和機械株式会社、代表取締役、小野寛利。6、契約の方法、7社の指名競争入札でございます。

この案を提出させていただくのは、小型はしご車を購入する必要があるからでございます。具体的には、現車両の屈折はしご車は平成8年2月に配備したものであり、更新時期の耐用年数20年を迎えると同時に、NO_x・PM法の規制対象となるため購入するものでございます。現車両と比較いたしますと、小型車両のため、狹隘地区にも対応でき、災害対応力の向上を図るとともに、ランニングコストも抑えるものでございます。

以上で説明を終わります。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 理事者の説明は終わりました。これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

早川委員。

○早川直彦委員 今回、15メートルのはしご車を購入するわけなんですけど、わかる範囲で結構ですので、車の仕様について、どこの車両ベースか、多分デッキ工事の関係とかの高所作業車をベースにしてつくると思うんですが、どこのベースなのかとか、あと、はしごのタイプも、屈折とか、シグマ型とか、はしご型とか、いろいろあるんですが、そういうわかる範囲の車の仕様について説明してください。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 小型はしご車は、名前のとおり、従来のはしご車と比較すると、小型で3トントラックをベースにシングルキャブで乗車定員2名でございます。車両後部にクレーン車と同様の装置を載せまして、先端にバスケットをつけております。梯体部分、これはブームといいますけれども、がクレーン車のように伸縮しまして、高さが15メートルまで伸びるもので、基本的には、先ほど委員から指摘がありましたように、中部電力とか、N T Tの高所作業車と同様で、狹隘地区での中層建築物の災害活動に適している車両であると認識しております。

以上でございます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 クレーンの部分について聞かせていただくんですが、今、安全装置のついているものが多くなったと思います。昔は安全装置がついてなかったですので、出し入れするときにヘッドの車の頭に自分で気をつけないとぶつけちゃうとか、あと、最大の角度までいくと倒れちゃうというのがあるんですが、クレーンの安全装置がついているタイプなのか。

あと、もう一点、アウトリガーを出しているときに、今、ジャイロ機能のついている車種も多くなっていると思うんですが、そのジャイロの機能もついているかどうか、その辺、教えていただけませんか。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁をお願いします。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） ブームについては、キャブ衝突防止装置だとか、それから、一定角度以上になると倒れるのを防止する警報装置とか、そういうものがついております。

あと1点ですが、水平装置については、自動ではなく、手動でやるタイプになっております。

以上でございます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 今回、小型にすることによって狭隘のところにも入っていけるようになるということなんですが、例えばこれまでのはしご車で網羅できる豊明市域内の道路の割合に対して、どれだけふえるとといった数値はありますか。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁をお願いします。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 何%という数字はこちらでは把握はしておりませんが、今の阿野地区、桶狭間地区、舘地区、こちらのほうの狭隘地区に結構深くということですか、路地のほうまで入っていけるとこちらでは認識しております。

以上でございます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 今の関連で、具体的に、例えば、今までのはしご車だと幅員何メートルのところまでだったのが、ここまで入れるようになるということの数値はありますか。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） そこまでの資料は今持ち合わせておりません。

以上です。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 ジャイロ機能がついていないタイプになると、水平をしっかり出して消火作業しなきゃいけないという部分があると思うんですが、大型のものに関してはジャイロ装置がついていますので、多少傾斜がついていてもマイコン制御で修正してくれますよね。その部分は早く出動できるのかな、消火作業がいけるのかなと思うんですけど、その部分、ジャイロ装置がついていないところの、せっかく狭隘道路が入れるようになりました、でも準備するのに時間がかかる、そういう部分についての対策というのは考えているんでしょうか。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 水平装置はついておりませんが、大概手動でやるわけなんですけれども、これを手動でやる場合でも、自動でやるよりも若干早いぐらいで水平がとれるということを知っておりますので問題ないと思います。

以上でございます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 どうしても、狭隘道路に入れるという部分、メリットも非常にあると思うんですが、狭いところに入るとなると、例えば、ラフタートラック、移動式のクレーンもそうなんです、同じ形態のものなんです、アウトリガーの作業による事故というのが非常に多いんですよ。例えば、足をおろすときに下に板を敷きますよね。あれは金具でとめるタイプのものとかがあるのですが、あれがちゃんとハマっていないと、がんと落として、足を挟むとか、指を挟むという心配。

あと、もう一点は、狭隘道路だと、多分、3トン車ですと3.5メートルぐらいは最大足が伸びると思うんですが、それが2メートルしか出せないという場合もあると思うんです。側溝があって、どうしてもそこに載せられないという部分もあると思うんですが、消火活動に環境がいいところに車をとめて消火作業をするわけでもないと思うんですが、そういう部分で、すごく有効に活用できる部分もあるけど、逆に言うと、事故も心配だなという

部分もあるんですが、その点に関する安全対策というのは考えているのでしょうか。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 災害活動におけるアウトリガーの張り出し等なんですけれども、当然1人でやるわけではございませんので、隊員が、張り出しのときは左右のほうについて、張り出し、それから伸縮等をしますので、その辺は問題ないと思っております。

以上でございます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

杉浦委員。

○杉浦光男委員 これは、この議案そのものを読むのに極めて専門性が高いと思うんだね。だから、言うなれば、これを信用しろと、そういうことで出てきておるようなイメージさえ受けるわけ。だから、私も、今、向こうの方の質問と重複するけれども、安全性だとか、効率性だとか、本当にこの車両を使えばこういう成果があった、成果性みたいな、自信を持ってもう一度答えていただきたいと思いますけどね。

それで、その点については、もう一つ附属して言いますと、消防というのは、指令は広域になったでしょう。尾三消防と豊明じゃありませんか。豊明で単独でやるわけじゃないでしょう。例えば火事だというときに、豊明だけで出るんじゃないかと……。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 杉浦委員、質疑をお願いします。

○杉浦光男委員 だから、今質疑にずんずん近づいていきますので。だから、そういうことも踏まえて、広域性があるじゃん。だから、そういうことも踏まえて、本当にこの車両で豊明の隅々まで、本当に消防としての第一級のものでこういう効果があってこれでいいよということを答えていただきたい。広域を、そこを持ち出したのは、ここだけじゃなくて、いざとなると東郷にも行かないかん、東郷からも来てもらわないかん、そういう問題があるじゃないですか。そうすると、かなり自信を持って豊明がおらんといかんなど。今の答えだと、質疑に対する答弁は、やや自信がなさそうに見えたので、同じかもしれませんで、自信を持って答えてください。そういう質疑です。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 必ず災害出動するときにも2人乗車で確認しながら走行しますので危険はないと思われま。むしろ、今まで走行が困難であった道路に進入できることから、活動の範囲が広がってメリットが多いと思われま。当然、災害活動のときの活動なんですけれども、隊員がしっかり安全確認いたしますので、事故はないと思

ます。

以上でございます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

杉浦委員。

○杉浦光男委員 これをペケにして新しい車を買おうと。その古い今まで使っておったのはどうなるんですか。売りに出して少し費用を稼ぐとか、そういう細かい計画はありますか。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 廃車とさせていただきます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 杉浦委員。

○杉浦光男委員 廃車と言ったから、廃車は使えなくなったら廃車なんですけど、この廃車をどこかに売りに出すとか、どこかから買いたいとか。これは物すごい利用価値が多いんですよ。企業の消防署とか、あるでしょう、実際は。だからそういう計画もありますかと、これが質疑です。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 寄贈とか、オークションとか、ございますけれども、どちらともする予定はございません。ですから廃車という形をとらせていただきます。

以上です。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 今回、指名競争入札という形をとられているんですが、一般競争入札にされなかった理由であったり、あと、指名競争に当たって、要件としてどういった会社を選ばれたのかといったところを教えてください。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 指名業者は、指名審査委員会において業者決定されました。過去に、消防車両納車実績のある7業者が選定されたものと理解しております。

以上でございます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 今、一般競争入札にしなかった理由についてお答えになっていないので

すが。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

古橋消防署長。

○消防署署長（古橋三佐男君） この消防車というのはやっぱり専門性がありますので、専門業者でないとつくれませんので、指名にさせていただきました。

以上です。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 もう少し仕様のことについて聞かせてください。

バスケットに装備されるもの、同じところのメーカーでさきに納入している瀬戸市さん、大府市さんにも、私、問い合わせしたんですが、放水銃と照明器具がついているよと。あと、ホースの接続のジョイントがついているという3点なんですが、豊明の場合は、これにプラスアルファするのか、それともこれより少ないのか、その辺の装備を教えてください。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 放水銃と分岐管、それからおのとバールを装備いたします。

以上でございます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 バスケットのタイプは固定されているタイプか、デッキ工事のものだと回転するものが多いんですが、その辺は固定なのか、左右に回るタイプのものか、どちらなのでしょう。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 可動式のものでございます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 あと、NO_x・PM法のことでも聞かせてください。専門的なことばかりで済みませんが、今、NO_x・PMの対策のディーゼル車は、大きく分けて二つあります。すすがたまった場合に直接燃焼するタイプのもの、もう一点は、尿素、アドブルーという

薬品を入れて、それで燃焼するタイプのものとあります。今回購入するタイプの3トン車
はどちらのタイプのものになるのでしょうか。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） DPR方式です。

以上でございます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 早川委員。

○早川直彦委員 ということは燃焼タイプですね。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 燃焼タイプでございます。

以上でございます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 早川委員。

○早川直彦委員 関連してなんですけど、私も大型車に乗車する機会が多々ありますので、
燃焼装置が作動することが多々あります、大型車で。その作動のランプがつくと、オート
で勝手に10分、15分ぐらいアイドリングして消えるという状態なんですけど、結構、使用説
明書を読むと、燃えにくいところ、コンクリートのところで燃焼させてくださいよとか、
ランプがついた場合は、エンジンをかけっ放しで放置してくださいよという条件がついて
います。

十分燃焼させないと車が壊れちゃうんですね。すごい修理代も高くなるんですが、ちょ
っと心配なのは、火災作業中に燃焼が始まっちゃうと、大型のもののはしご車の場合は、
マンションとかは下がコンクリートでちゃんと安定したところにとめることができるん
ですが、狭隘地区に入れる車というのは、どちらかという、砂利のところでもとめよう
と思えばとめられるわけですよ。そういう安全対策的な部分でちょっと心配する部分があ
るんですが、その辺の考えというのは何かお持ちなんでしょうか。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） この件でございますけれども、業者のほうに確認したと
ころ、当然、活動するということはP T Oを入れますよね。P T Oを入れると、燃焼装置
のほうじゃ働かなくなるということですので、作業中には問題ないというふうに解釈して
おります。

以上でございます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 今、ずっと質疑を聞いていると不安になってきたんですけど、平和機械株式会社というのは、消防小型はしご車をつくる専門業者ということですよ。知識とか、全て持っている業者ということで認識でよろしいでしょうか。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 委員の御指摘のとおりでございます。

以上でございます。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 今回、買入れ金額が税込みで3,585万6,000円となっているんですが、予定価格に対してどのぐらいの割合だったんでしょうか。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） 予定価格は非公表とされておりますので、率を申し上げることはできません。

以上です。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

早川委員。

○早川直彦委員 議案第39号 財産の買入れ（小型はしご車）についてですが、賛成の立場で討論します。

本会議場でも討論しようと思っておりますので、一つだけ言わせていただきます。狭隘道路に入るといことは、活動範囲も非常に広がると思います。しかしながら、クレーン車でもそうですが、小型になるほどやっぱり事故が多いんですよ。機動性がいい、動かし方も動かしやすい。そうすると、やっぱりうっかりとか、ミスも出てくると思いますので、アウトリガーの関係で事故を起こしたり、特にしまうときに誤ってボタンを押して、もう一人の人が挟まれるなんていう事故も結構移動式のクレーンではよくある事故の一つです。あと、アウトリガーの下に板を置くときも、ちゃんとはめてやればいいんですけど、中途

半端にはまっていると、ぱたんと落ちて、それで指を挟むとか、足を挟むというような事故も多いですので、単純なことなんです、日ごろの訓練が多分災害時で事故を防ぐものだと思いますので、あと、そういうことをしっかり訓練していただきたいというのと、あと、狹隘道路、上を見れば電線だらけですので、電線に当たって感電するなんていうこともあってはいけませんので、その辺、しっかり十分気をつけて取り組んでいただきたいことを要望いたします。賛成の討論です。

以上です。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 議案第39号 財産の買い入れ（小型はしご車）について、賛成の立場で討論させていただきます。

これは3月のときでも言わせてもらったとおり、阿野地区というか、中央小学区というのは結構あると思うんですね、そういう狹隘道路が。なので、そういう関係で、安心・安全ということで、これを購入ということではありますが、一つ言うと、先ほど早川委員が言われたように、狹隘道路というと、やはり火事場がどんどん近づいてくるところがありますので、その辺の消火活動について、出動された場合は細心の注意を払っていただいて消火に努めていただきたい。これをつけ加えまして賛成といたします。

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第39号については、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第39号については、全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については、私に一任願えますか。

（異議なしの声あり）

○建設消防委員長（近藤千鶴議員） ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査御苦労さまでした。これにて、建設消防委員会を閉会いたします。

午後2時43分閉会

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

建設消防委員会

委員長